



平成 24 年 11 月 1 日

各 位

会社名 シャープ 株式会社
 代表者名 取締役社長 奥田 隆司
 (コード番号 6753)
 問合せ先 経理本部副本部長兼経理部長
 青山 孝次
 TEL (06)6621-1221

平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と実績との差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 8 月 2 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と実績との差異
 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,100,000	△130,000	△160,000	△210,000	△190.85
実績値(B)	1,104,166	△168,896	△197,281	△387,584	△352.25
増減額(B-A)	4,166	△38,896	△37,281	△177,584	—
増減率(%)	0.4	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	1,314,585	33,585	20,860	△39,822	△36.19

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想の修正
 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500,000	△100,000	△140,000	△250,000	△227.21
今回修正予想(B)	2,460,000	△155,000	△210,000	△450,000	△408.97
増減額(B-A)	△40,000	△55,000	△70,000	△200,000	—
増減率(%)	△1.6	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	2,455,850	△37,552	△65,437	△376,076	△341.78

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は前回予想を上回りました。一方、利益につきましては、本年度下期以降の収益回復をより確かなものとするため、経営改善対策や抜本的な構造改革を推進する中、生産設備の減損やたな卸資産の圧縮を一段と推し進めました。これに伴い、営業損益が1,688億円の損失、経常損益が1,972億円の損失となり、また、四半期純損益は、事業構造改革費用等の特別損失の計上や、業績の悪化に伴う繰延税金資産の取り崩し等から、3,875億円の損失となり、前回予想を大幅に下回る結果となりました。

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、上記の第2四半期連結累計期間の実績等を踏まえ、前回発表時の予想を修正いたします。

今後につきましては、外光の映り込みを抑え、明るい部屋でも鮮やかな映像が楽しめる独自パネル採用の液晶テレビや、IGZO液晶を搭載し、電池持ちの大幅な向上と高精細を実現したスマートフォンやタブレット端末、さらには「24時間うるおい生活」を提案するプラズマクラスター美容家電など一段と独自商品の販売強化に取り組むとともに、引き続きグローバルレベルでの協業を推し進め、収益の早期回復を図る所存です。

また、希望退職の募集や賃金の減額等、人件費の削減を含む総経費の圧縮、在庫の適正化や資産の売却、設備投資の抑制等により、キャッシュ・フローの創出を実現する経営施策の進捗を管理するモニタリング体制を整備し、着実に実行することによって、この2012年度下期の連結営業利益黒字化を実現し、業績と信頼の回復に努めてまいります。

なお、下期の為替レートは、1ドル79円を前提としております。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項がありますが、これらに限定されるものではありません。

- ・ 当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢の著しい変化
- ・ 製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- ・ 為替相場の変動（特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場）
- ・ 諸外国における貿易規制などの各種規制
- ・ 他社との提携、アライアンスの進捗状況
- ・ 当社グループに対する訴訟その他法的手続き
- ・ 製品やサービスについての急速な技術革新 など

以 上